

# ～ アンコンシャス・バイアス研修 ～

< 講演タイトル >

## 「新規技術の社会実装からみるDE&I - ELSIセンターでの取り組み」

ZOOM  
開催

9.10 (火) 開催  
13:30-14:30

申込

ZOOMウェビナー登録はこちら

[https://us02web.zoom.us/join/register/WN\\_41UPhP4dTLCJ4X68FKtRRg](https://us02web.zoom.us/join/register/WN_41UPhP4dTLCJ4X68FKtRRg)

- ▶ 申込期限なし
- ▶ 当日参加可能



## 内容

### < 大阪大学 全教職員・学生対象 >

～ 特に男性管理職・教授の受講を推奨 ～

大阪大学は、DE&I実装キャンパスの実現に向けて、誰もがいきいきと学び、働くことができるキャンパスの実現を目指して、講演会や研修を通じた大学構成員への啓発活動、制度の見直し等を積極的に進めています。

今回は、自分の中のアンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)に気づき、その払しょくのために、マジョリティーの無自覚な特権についての認識を深めます。

### < 講演概要 >

新規科学技術を実装する際には、生じそうな倫理的・法的・社会的課題(ELSI)をあらかじめ抽出し、対応することが求められる。一見問題ないケースに見えても、「問題ない」という思い自体が「特権」を持つ側からの視点に過ぎない可能性を意識し、そこから排除されるマイノリティの存在や嫌な思いをする人々がいる可能性を想像する力が試される。

DE&IはELSIの重要な要素でもあり、そうしたELSIを想像する際のメンバーのダイバーシティも重要である。ELSIという切り口やその中でDE&Iを検討することについて具体的な事例を挙げながら考えていきたい。

## 講師

岸本 充生 氏

大阪大学 社会技術共創研究センター長



社会技術共創研究センターHP

<https://elsi.osaka-u.ac.jp/>

京都大学大学院経済学研究科で博士号取得(経済学)。通産省工業技術院資源環境技術総合研究所、独立行政法人産業技術総合研究所を経て、2014年に東京大学 公共政策大学院 特任教授。2017年から大阪大学データビリティフロンティア機構 教授。2020年から社会技術共創研究センター(ELSIセンター)長を兼任。専門は政策評価、リスク学。国の仕事としては原子力規制庁放射線審議会委員、総務省政策評価審議会専門委員など。そのほか、小学校のPTA本部6年を経て現在中学校PTA会長、さらに市PTA協議会副会長、また地元自治会の会長4年目。

問い合わせ先

大阪大学  
ダイバーシティ&インクルージョンセンター

HP: <https://www.di.osaka-u.ac.jp/>

